

第8回

京都都市緑化
写真コンクール
入選作品集

(平成4年度)

主 旨

緑とオープンスペースは、大気の浄化・気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割をはたしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月を「都市緑化月間」と定め、今年度も全国各地で緑と公園に関するさまざまな行事が行われました。

京都では、この「都市緑化月間」の行事のひとつとして「街の緑と公園」「身近な小さな緑」などを主題とした「第8回京都都市緑化写真コンクール」を行い、351点の応募作品の中から入選作品として優秀な作品40点を選びました。

主催 京 都 府 都 市 計 画 協 会

共催 京 都 府 ・ 京 都 市

社京都府造園建設業協会

入選作品一覧

京都府知事賞	「緑に囲まれて」	滝本 正雄
京 都 市 長 賞	「新興住宅地」	藤岡 輝年
社京都府造園建設業協会賞	「街角の語らい」	河村 時雄
優 秀 賞	「緑のトンネル」	金井 昇
(順不同)	「緑の川辺」	中川 敦夫
	「都心のオアシス」	西村紀美子
	「緑に囲まれた白い館」	貞廣 哲三
	「試合前」	小畑 礼司
	「キャンパスの緑」	橋本 健治
	(無題)	高橋 幹子
	「ビルにも緑を」	畑 精一
	「緑の並木路」	辻井まさ代
	「緑のもとで電話」	一井 由清
佳 作	「花談義」	大竹 昭夫
(順不同)	「緑豊かな街」	中川 敦夫
	「課外授業」	伊藤 照夫
	「新緑の中で」	神内 宏輝
	「お母さんと一緒」	川崎 良一
	「緑の小径」	畑 精一
	「グリーンゾーン」	大川 啓二
	「一輪の花」	田中 泰之
	「表庭」	西 義雄
	「公園の主役」	斎藤 勝巳
	「木陰」	滝本 正雄
	「緑地帯の緑り」	南部 斉
	「自転車で」	倉田 武彦
	(無題)	渡部恵美子
	「みどりの歩道」	辻井まさ代
	「路」	谷口 祥一
	「緑の散歩」	杉原美千代
	「ボクのお気に入りのコース」	近藤 大晴
	「緑さわやか」	阪口 征生
	「北山通り」	渡辺日出夫
	「いつもの道の緑」	一井 由清
	「ひと休み」	小島 英子
	「行楽の日」	千原 正己
	「遊歩道」	羽田 正昭
	「白線と緑線」	大崎 稔
	「府民ふれあいの森 開園」	松原那智留
	「緑化運動に集まった人々」	山田 拓広

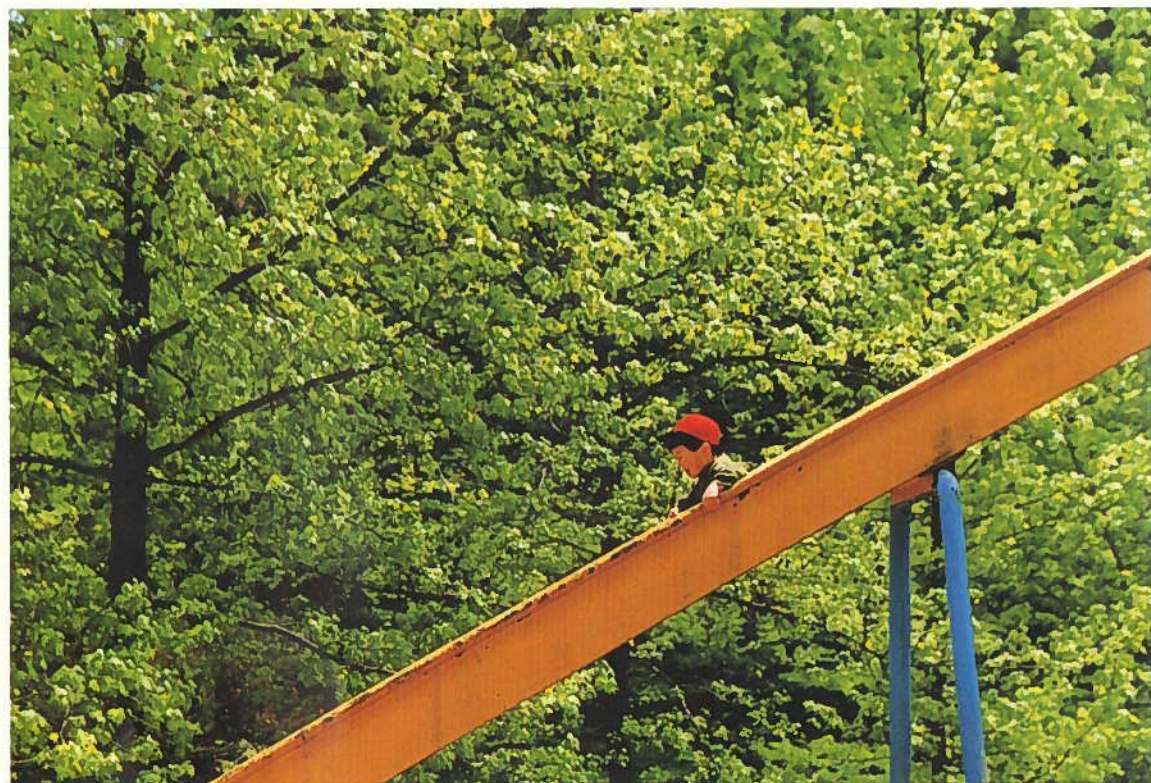
京都府知事賞1点、京都市長賞1点、

社京都府造園建設業協会賞1点、

優秀賞10点、佳作27点

合計40点

—京都府知事賞—



「緑に囲まれて」 滝本正雄

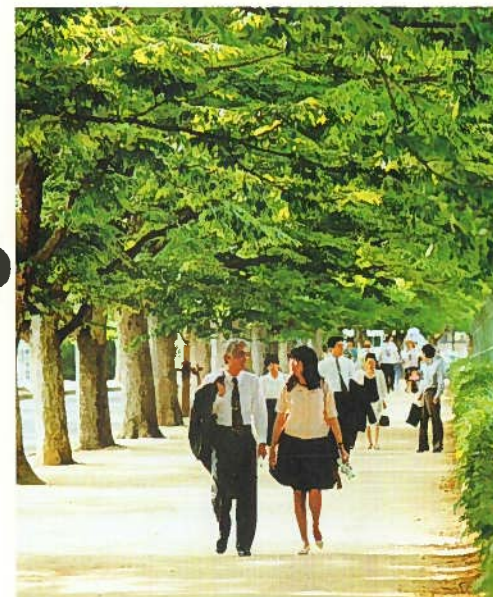
—京都市長賞—



「新興住宅地」 藤岡輝年



「街角の語らい」 河村時雄



「緑のトンネル」 金井 昇



「緑の川辺」 中川敦夫



「都心のオアシス」 西村紀美子

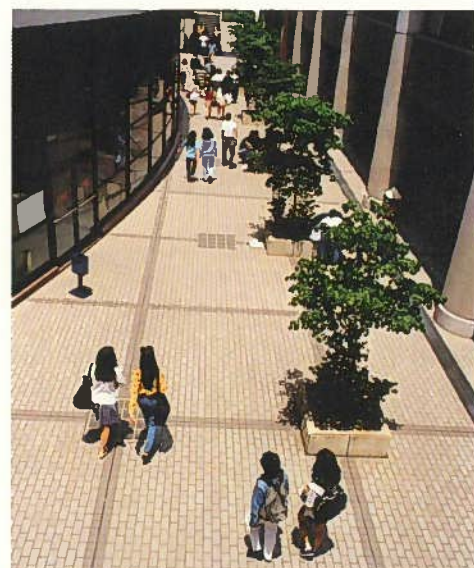


「緑に囲まれた白い館」 貞廣哲三

—優秀賞—



「試合前」 小畑 礼司



「キャンパスの緑」 橋本 健治



「(無題)」 高橋 幹子



「ビルにも緑を」 畑 精一

—優秀賞—



「緑の並木路」 辻井まさ代



「緑のもとで電話」 一井 由清

—佳作—



「花談義」 大竹 昭夫

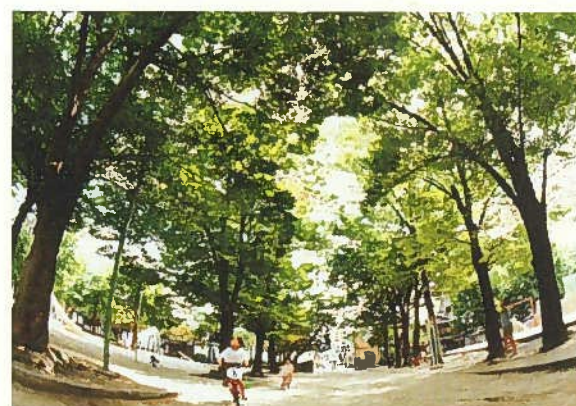


「緑豊かな街」 中川 敦夫

—佳作—



「課外授業」 伊藤照夫



「新緑の中で」 神内宏輝



「お母さんと一緒」
川崎良一



「緑の小径」 畑 精一



「グリーンゾーン」 大川啓二

—佳作—



「一輪の花」 田中泰之



「表庭」 西 義雄



「公園の主役」 斎藤勝巳

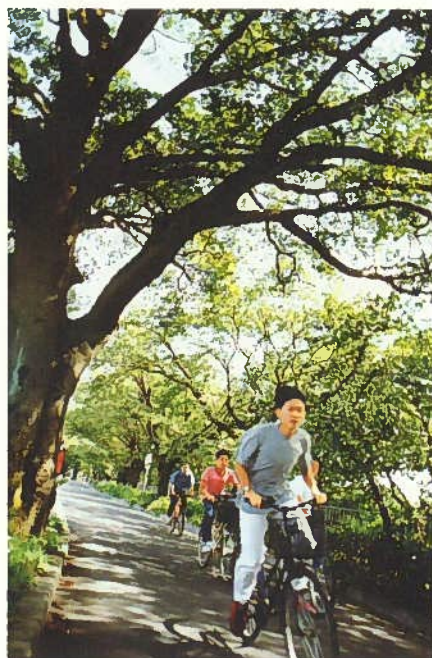


「木 陰」 滝本正雄



「緑地帯の緑り」 南部 斉

—佳 作—



「自転車」 倉田武彦



「(無題)」 渡部恵美子



「路」 谷口祥一



「緑の散歩」 杉原美千代



「みどりの歩道」 辻井まさ代

—佳 作—



「ボクのお気に入りのコース」 近藤大晴



「緑さわやか」 阪口征生



「北山通り」 渡辺日出夫



「いつもの道の緑」 一井由清



「ひと休み」 小島英子



「行楽の日」 千原正己



「遊歩道」 羽田正昭



「白線と緑線」 大崎 稔



「府民ふれあいの森 開園」 松原那智留



「緑化運動に集まった人々」 山田拓広

第8回京都市緑化写真コンクール講評

古都保存文化写真協会会長
写真作家 小林 文 司

最近の京都は、景観問題で多くの論議をよんでいます、私はこの基本は身の回りから緑を育てることにあると思っています。

街のみどりは、私たちに憩いやくつろぎを与えると同時に、京都の歴史、文化、自然を含めた都市環境に大きく関わっています。この京都のまちを育てるには、積極的な公共施設の緑化に加えて、日常の市民の手による緑化活動の協力が必要ではないでしょうか。四条河原町の交差点の真ん中に樹木を植えるくらいの英断があれば、みんなで協力していきたいと考えています。

このような積極的な都市緑化への取組みの中から、緑に対する新たな認識が生まれてくるでしょう。

今回の応募作品は351点と、昨年をさらに上回り、いままでの最高数でありましたが、改めて緑を写真にすることの難しさを思い知らされました。傑出した作品が少なく、マンネリ化している様に思えます。

しかし、レベルが低いのではなく、甲乙つけがたい一定基準で固まってきている傾向にあります。これもテーマの難しさを物語っています。

知事賞の作品は、よく計算された構図で、単純明快に緑を象徴する優秀な出来映えです。市長賞の作品は、市民、行政の協力で緑化の進んで行く中に家庭の温かさを良く表現しています。協会賞の作品は、新しく創られた緑ではありますが、街中でのゆとりをうまくまとめた秀作でした。

総評としては、今回の応募作品の格差は小さく、緑化に対する認識は上がっていますが、写真表現としては、もう一工夫欲しいところでした。

それから、府下の地方色豊かな応募を数多く期待したいものです。

町中の緑を増やしていくには、公共事業の積極性と市民一人ひとりの常日頃取組みが大切と考えています。“緑ゆたかな街づくり”をテーマに、平成6年秋に開かれる「第11回全国都市緑化きょうとフェア」がお祭りだけに終わらず、京都の街が緑いっぱいになることを願い、その中で今後とも、レンズを通して新しい京都の緑を発見してください。



第11回全国都市緑化きょうとフェア

緑いきいき

KYOTO'94

平成6年9月23日(祝)～11月20日(日)

会 場／梅小路公園・学研記念公園



開催テーマ

「緑の文化」その伝統と創生

第8回京都市都市緑化写真コンクール

■主催／京都府都市計画協会

■共催／京都府、京都市、(社)京都府造園建設業協会

■後援／建設省、京都府公園公社、京都府市長会、京都府町村会
京都新聞社、KBS京都、NHK京都放送局

■協賛／京都府造園組合連合会、日本造園修景協会京都府支部、
京都府写真材料商業組合、コニカ株式会社
(順不同)